

情報モラルちょっと授業

～10分で指導する情報モラル～

「実践授業」と連携

対象学年	小学校3年
領域	教科指導（総合的な学習の時間）
指導項目	著作物の利用について

情報モラル指導モデルカリキュラム			
分野	情報社会の倫理		
コード	b2-1	指導事項	自分の情報や他人の情報を大切にする。
指導のねらい	著作権の概念と大切さを理解させる。		

科目・活動との関連	総合的な学習の発表で、調べ学習に使った本から写真や図を利用するとき、引用した本の出典を明記することを指導し、著作権の概念と大切さを理解させ、出典の明記などを習慣づけたい。
利用教材（サイト）	道徳の授業で利用した絵と「ちょ作けん」のフラッシュカード

10分	学習の過程	指導法	指導の留意点
導入	前時の「道徳」を想起させる。	「道徳」で利用した絵と「ちょ作けん」のフラッシュカードを提示する。	著作権を侵害して嫌な気持ちになった、主人公の気持ちをふり返らせる。
展開	内容を把握させる。	発表のために準備しているポスターに利用されている絵が、自分で描いたものか、引用したものか区別させる。	著作権と関連づけながら区別させる。
まとめ	全体でのまとめ	引用した「本の名前」を書くことで、「自分が考えたもの」と「他人が考えたもの」を区別できることを指導し、ポスターに出典を書かせる。	出典の調べ方もあわせて指導する。

子どもの反応	子どもたちは、前時に行った「道徳」の著作権に関する授業内容をよく覚えていたため、短時間でスムーズに指導することができた。出典明記については、本のタイトルだけでなく著者など様々な記述が必要だが、今回は小学校3年生ということで「自分が考えた物ではない」という表示のために「(本のタイトル)～より」という記述に止めた。そのため、子どもたちは意図を理解し、本のタイトルを書き加えることができた。
実践の評価	「総合的な学習の時間」の導入時に短時間で行ったが、効果的だったと思う。子どもたちが簡単に実践できたことも、よかったと感じた。しかし、出典を書く場所や大きさなど、書き方を統一できなかったのが、次の活動では統一させていきたい。

板書と子どもたちの様子

